



共生の里

生活支援センター

株式会社

心体介護

利用者は利用者を
理解してくれる人が好き



共生の里生活支援センター(株)

施設長 福地正敏



基本理念

昔ながらの生活をそのままに
趣のあるたたずまいのまま

その人の、

その人らしい生活を、

活き活きと生きる。



心 体 介 護



「その人」が、
「個々人」である事の認識

「尊敬・尊重・尊厳・人権」

その人の想いを汲む

3つのテクニック

▶ パーソンセンタードケア

▶ バリデーションケア

▶ ユマニチュード

3冊の本の紹介

▶ 認知症ケアの考え方と技術 第2版

六角僚子 医学書院 ISBN978-4-260-02194-4 2400円+税

▶ バリデーション (認知症の人との超コミュニケーション法)

ナオミ・フェイル 筒井書房 ISBN4-88720-339-x 2500円+税

▶ ユマニチュード入門

本田美和子、イブ・ジネスト、ロゼット・マルスコッティ

医学書院 ISBN978-4-260-02028-2 2000円+税

大切な3つのスタンス

姿勢：無の境地(心境)：共生(活動)

不安・恐怖の回避：パーソンセンタードケア



ニュートラル：バリデーションケア



エンパワメントの増幅：ユマニユチード
(その人らしさの能力を開花し自己実現へ)

パーソンセンタードケア

ご本人の想いを汲めないと不穏・不安・恐怖

ストレス：利用者の**思い**と介護者の**思い**の違い

利用者の**思い汲む姿勢** = ニュートラル**姿勢**

共感：思いのボーダレス

関りを持つ人への姿勢

- ▶ その人は、**唯一無二の個々人**である事。
一人ひとり違う人である事を常に自己覚知。
- ▶ 「**その人の想い**」に寄り添い、
その人を「**4つのミル**」で見て下さい。
- ▶ 何を「しよう！」ではなく、
「**その人の自己実現**」ができる様に
援助ではなく支援に努める事。

その人を知る4つの三ル

- ▶ **観る**：客観的 (客席で芝居を
観るが如く) に観る。
- ▶ **視る**：調査・スクリーングに視る。
- ▶ **診る**：看護・診断的に診る。
(緩和ケア的)
- ▶ **看る**：手当・メンタルに看る。

想いを汲む

◎ 想いを汲む事の難しさ。

援助 ⇒ 支援
助け合い ⇒ 支え合い

想いを汲まない限り、
共感して貰い、共感を得る事は

バイステックの7原則

1. 個別化の原則

唯一無二の個々人である事を常に再確認

(全人的に全てを受け止める事が大切である)

対人援助技術で「個別化の原則」が最初に来る所以

※自己点検

外面的に同じような状況に見えても、人それぞれ育ってきた環境が違い、価値観も違う。

今、目の前にいる人は世界に一人しかいないと言う事を肝に銘じておかなければならない。

対人援助(お付き合い・ふれあい)がパターン化していないか。偏見や先入観にとらわれていないか。

自分のペースで話を進めていないか。

「忙しそうですね」と思われて又は、言われていないか。

その人の存在は何処に

支援者(介護者)が、その人の(介護者)
その人の存在を認めて
初めて願のその人がみえる

(訓読み:つつしむ 動詞:願・ねがう、望・のぞむ)

その人を排除しない！

全ての「その人」:皆人(ヒト)
皆人に「こころ」はある。
こころは「その人」のもの。

共生の里の言葉 【インクルージョン: inclusion】

「貴方、其処に居て良いのよ！」

パーソンセンター・ド・ケアは
実践に欠かせない！

「あるがままを認める事」

「ご本人の想いを汲む事」

「共感てきたら受け入れて貰える」

その人の尊厳を認めて！

「あるがまま（想い）を認める」

意識せずに否認していませんか？

「その人」の「その時々」の想いを
介護者が受け止める事ができているか。

結果として支援者は「その人の虚像」を見ている事がある。

⇒ 誤認・不安・恐怖 = 受け入れの拒否を導く ⇒ 更なる混乱

3つの身体拘束 「魔のスリーロック」

心体拘束:「スリーロック」

物理的身体拘束だけでなく。
スピーチロックは心の拘束！

「その人らしさ」追及 魔の3ロックの軽減

- ▶ 対象は個々人、一人ひとり影響は違う
 - ▶ その環境疎外因子 (ストレッサー)

➤ 自発・想いを抑制しない

1.スピーチロック

スピーチロックの弊害とは、言葉で相手の心の動きを封じ、行動を封じる。一番難しく、知らず知らずに「言葉による拘束」引いては虐待へと進化。



沈黙:無視



ちょっと待って!

ちゅーんちゅーんちゅーん

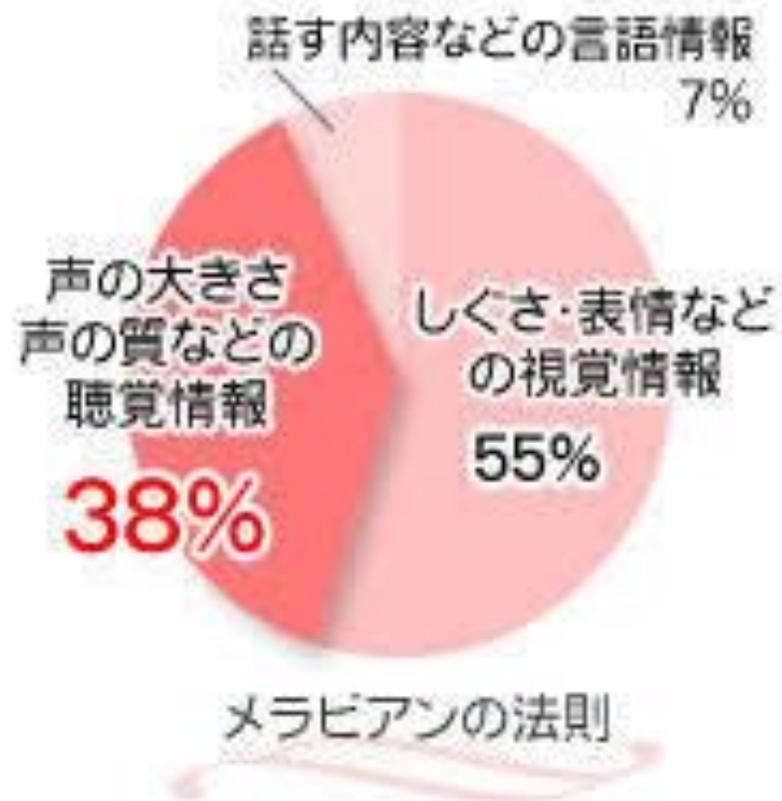


「~しちゃ」ダメ!
立ち上がらないで!叱責

言葉の抑制 スピーチロック

「動かないで」
「座って・立って」
「駄目でしょう」等と
言葉で行動を静止すること。

話し手が聞き手に与える印象は どんな要素で決まるのかを測定した結果



コミュニケーションにおいて
外見力(声・話し方・表情・視線などのノン
バーバルコミュニケーション)は強力な
ファクターになる可能性は大。
どんなに良い企画・アイデアでも
その声・話し方・表情が適切でな
ければ相手には好意的に受け入
れて貰いにくいと言える。

2. ドラッグロック

ドラッグロックの抑制とは
薬物で色々な行動を制限する為に不適切に
過剰投与し行動をコントロールする事。

夜間、大声を出してしまったり、
不眠・徘徊・昼夜逆転等で、
眠剤や安定剤を、安易に使ったり、
増量する事。



3. フィジカルロック

フィジカルロックの抑制とは、
抑制帯(車椅子安全ベルト・紐・つなぎ服) と言った道具等、
物理的に行動を拘束し身体の動きを制限する事



繋ぎや抑制帯



ベッドの四点柵



部屋に鍵

こころと動きの抑制 ：フィジカルロック

- 支持的な言葉による抑制
- 居室や建物の玄関に鍵をかける
- 縛って自由を奪う、立たせない

* こころの動きを抑制すると
行動の制限となる。

その他の抑制：非言語

- ・態度の抑制
- ・音の抑制

- ・色の抑制
- ・光の抑制

- ・デザインの抑制
- ・スペースの抑制 等..

尊敬とは

アドラーの「あるがままを認める」事

自傷行為と他害以外は見守り

あるがままに過ごして頂く事が「その人らしさ」

援助の視点(してあげる)ではなく 支援の視点で!

「その人」の、心身(想いと行動)の抑制となる。

抑制回避する事で自己実現をつなぎ自立支援

尊重とは

尊重の「重」は、重いとも読みますが、
今回は、「時を重ねる」と、読んで下さい。

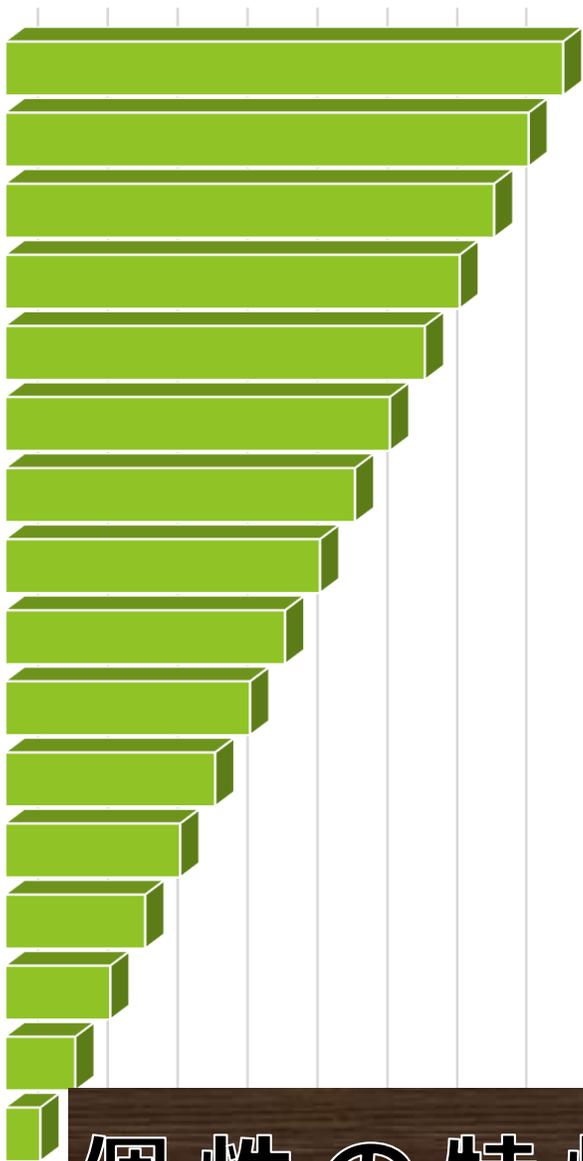
時系列に

尊敬とは、 (あるがままを認める事を)

「重ねる」事、続ける事。

終末期に於いても、
おばあちゃんになっても、
おじいちゃんになっても、
障がい(特性)を持たれても、
個性が強くなられても、

5年後、
3年後、
1年後、
半年後、
3カ月後、
1月後、
1週間後、
3日後、
明後日、
明日、
今日、



個性の特性要度合い

尊重とは②

尊厳とは①

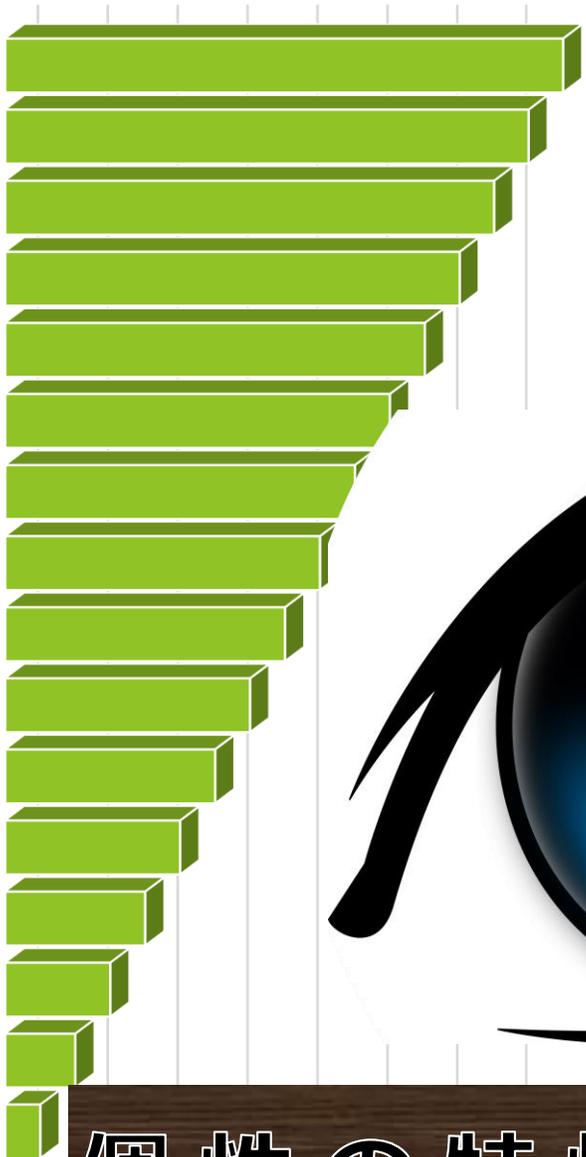


尊厳の「**厳**」は、
「**厳**しい」シク活用「**厳**しく」

尊重されておられるかを
「**厳**しく戒める」事である。

終末期に於いても、
おばあちゃんになっても、
おじいちゃんになっても、
障がい(特性)を持たれても、
個性が強くなられても、

5年後、
3年後、
1年後、
半年後、
3カ月後、
1月後、
1週間後、
3日後、
明後日、
明日、
今日、



尊厳とは②

個性の特性要度合い

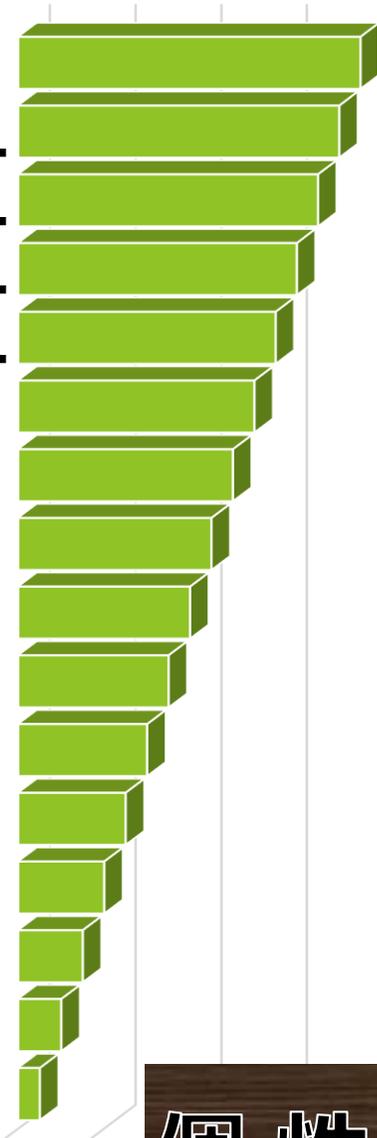
「その人らしくの理解」

- ▶ 尊敬とは自由権(あるがままを認める事)
- ▶ 尊重とは尊敬し続ける事(エンドレス)
- ▶ 尊厳とは尊敬を厳しく(視る:調査)
視詰める事。

? それでは、人権とは?

縦軸：時間：継続

終末期に於いても、
 おばあちゃんに…
 おじいちゃんに…
 障がい(特性)を持…
 個性が強くなられ…
 5年後、
 3年後、
 1年後、
 半年後、
 3カ月後、
 1月後、
 1週間後、
 3日後、
 明後日、
 明日、
 今日、



その人らしさを
 確保できて
 初めて
 人権と
 為す

個性の特性要度合い

人権とは ①

人権とは②

- ◎ 人権とは、ただ人としての権利あらず
「その人らしく」が発揮できる環境・
発揮させて貰える権利
- ◎ 自分もその人から見れば、
「自分」であり、自分の事を
「自分らしく」認められる権利を
「人権」と言う。

人権とは③

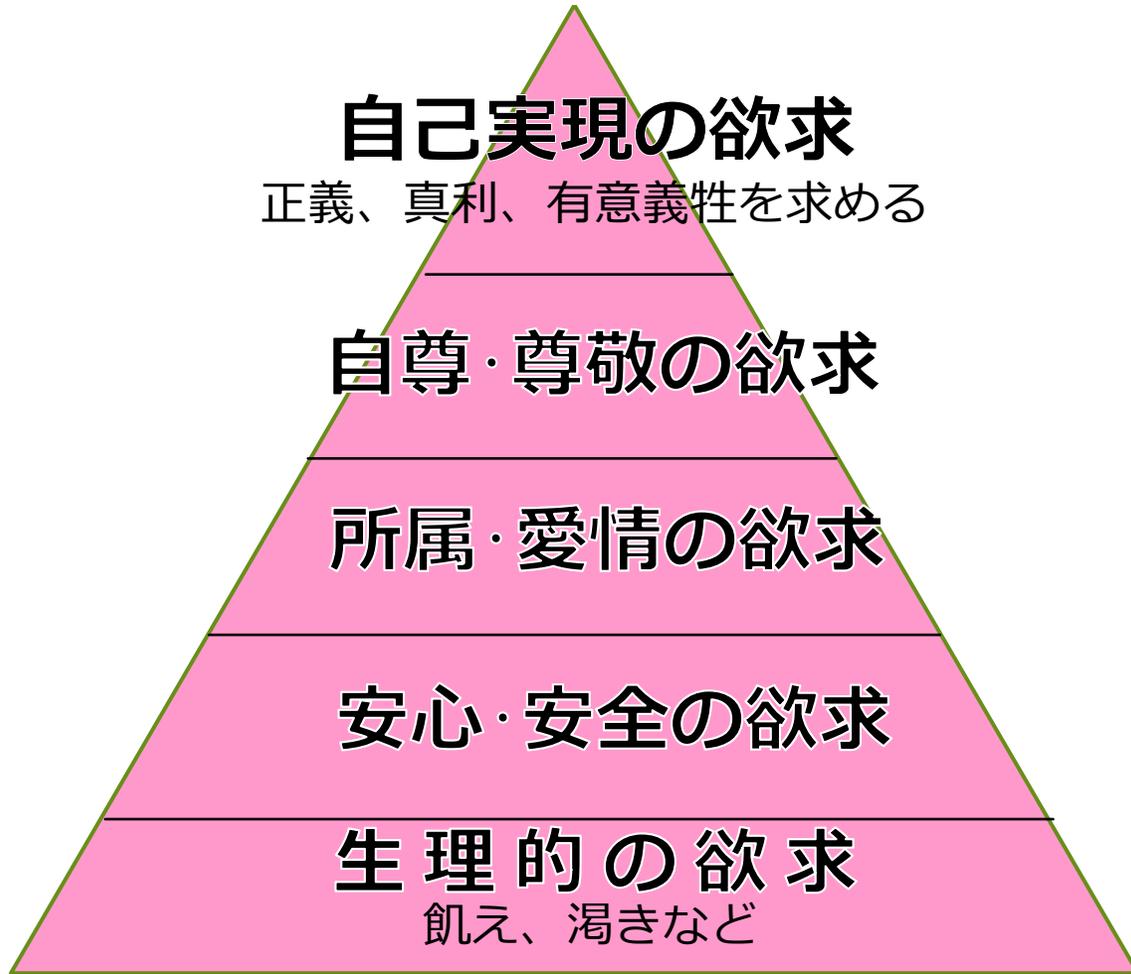
◎ 人権とは

「その人らしく・自分らしく」

認められ、対応される権利

既に共通の認識

マズローの欲求の5段階説



マズローの欲求の階層

自分らしく生きたい

自分を必要としてほしい、
役に立ちたい、尊敬されたい

家族に愛されたい、友達と楽しく付き合いたい
他者と関わりたい

病気になりたくない、安心できる場所で生活したい
住まいや衣類など

美味しいものを食べたい、ゆっくり休みたい
お風呂でくつろぎたい

その人らしさを知る視点

言語コミュニケーション

言語と非言語コミュニケーションの 理解の許容量を比較

現在は、認知症の方
言語コミュニケーションでの
理解の許容量は3%

バードホイステル

(Birdwhistell, 1970)

対人コミュニケーションにおいて、
言葉(言語)コミュニケーションは

およそ**35%**そして

非言語コミュニケーションはおよそ約65%

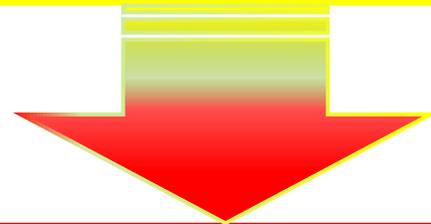
アルバート・メラビアンの

「コミュニケーションの三要素」

好意・反感などの態度や感情についての実験

感情や態度について

矛盾したメッセージが発せられたとき



人の受けとめ方について、
人の行動が他人にどの様に影響を及ぼすか

「7-38-55」のルール

▶ **言語情報** = verbal 音節 ver · bal 発音記号 /v' ə: b(ə)l/ 7%

1 言葉の[に関する], 言葉から成る. 2 話し言葉で表わした, 口頭の (cf. written 1). 3 文字どおりの, 逐語的な.

▶ **聴覚情報** = vocal 音節 vo · cal 発音記号 /v' óʊk(ə)l | v' əʊ-/. ... 38%

1 限定用法の形容詞 (比較なし) a 声の, 音声の[に関する]; 発声に必要な. b 【音楽】 声楽の 2 a (比較なし) 声で発する; 口頭の. b 声を発する, 発声力のある. 3 《口語》 a 意見を自由に述べる, 遠慮なく言う, 能弁な. b 叙述的用法の形容詞 [+前+(代)名] [...に] 遠慮なく言って, ずけずけ言って 4 (比較なし) 【音声】 有声音の; 母音(性)の

▶ **視覚情報** = visual 音節 vis · u · al 発音記号 /v' íʒuəl, -zəl/ 55%

1 a 視覚の[による, に訴える]. b 限定用法の形容詞 【解剖】 視覚[視力]に関する. 2 【空・海】 (レーダー・計器によらない) 有視界の.

頭文字を取って「3Vの法則」

伝えると言う視点

35
%

伝わると言う視点

7%

話の内容などの言語情報が7%

口調や話の早さなどの聴覚情報が38%

見た目などの視覚情報が55%の割合

バリアーデビューシヨンケア

必ずしも言語を必須としない事を解説

▶ある利用者

：不安から恐怖におびえられ、自分を見失った利用者

▶先輩介護士

：一生懸命に話しかけられるが、落ち着かれない。

▶新人介護士

：如何して良いのか解らず泣きじゃくってしまった。
．．．その結末は？

新人介護士が 泣きじゃくった結末は？

▶ 利用者は何時の間にか、新人介護士を
...頭をなでて言葉をかけられておられる？

・・・その言葉をよく聞くと・・・

利用者は慰めておられました。

ユマニチュード

ユマニチュードの基本は4つ

「見る」・ 「話す」

「触れる」・「立つ」

「話す」とは

「オートフィードバック」
今行っている介護の行為を、
そのままを言葉にして
実況するという方法です。

ユマニユチード

姿勢：無の境地（心境）：共生（活動）

不安・恐怖の回避：パーソンセンタードケア



ニュートラル：バリデーションケア



エンパワメントの増幅

（その人らしさの能力開花や権限付与）

：ユマニユチード

「その人」を自分の一瞬の思い(色)で
排除しない!

全ての「その人」:皆人(ヒト)
皆人に「こころ」は誰にももの
こころは本人「その人」のものです。

共生の里の言葉 【インクルージョン: inclusion】

「貴方そこにおいて良いのですよ」

共生の里の「真剣」とは

▶ 途切れなくご本人を観る。

▶ **言葉** : 速過ぎないか・トーンの高さ・口調等

▶ **仕草** : 目・姿勢・指・生活歴による仕草等

▶ **動き** : 頭・身体(手・腕)立つ・歩く・走る等

特に:まなざし(眼差し:眼は口ほど物を言う)

:ご本人は介護者が受け止め様としているかを瞬時に判断

「自分らしさ」の表出

ストレスが増すと許容できなくなる

- ▶ 自分が自分でいられないとき？
 - 自分が思い通りになれないとき。
 - 自分の思いを理解して貰えない時
 - 自分の思いを汲んで貰えない時
 - 思い通りに動けない時

オモイを伝える

◎ オモイの違いを理解して
支え合いを再起させる事の
大切さを伝える事は難しい

想いを汲む事

思いを知る(自己覚知)

オモイのボータレスを共感と言う

共感とは、①

想いを汲み、受け止めて
「ありのままを認める」事で
「人間らしさ・その人らしさ」
「自分らしさ」を発揮できる

共感とは、②

共に同じ思い感じ・響き会う。

➡喜び・安らぎへ向かう

静止の状態：共鳴する・喜び合う・
同じ感覚を得る・共に日向ぼっこ
をする等

「その人らしさ」への導き

「ケアに勝る薬は無い」

- 個性を認める。
- 先ずは心の動きを止めない。
- 次に行動を妨げない。
- その人の言葉や行動を尊重する。

「その人」の存在は何処に居られるのでしょうか？

▶「その人」の生活歴をご存知ですか？

- ・「その人」の生まれ(時代・場所) 育ち、エピソード記憶を どれだけご存知でしょうか？

その人らしくとは、

1. 個人因子①

その人のあり様

- ▶ 「個人因子」とは、生活機能に対して内的な影響を与えるものと定義、その人固有の特徴。これは非常に多様である。年齢・性別・民族・生活歴(職業歴・学歴・家族歴など)・価値観・ライフスタイル・コーピングストラテジー(困難に対処し解決する方法・方針)等などである。
- ▶ 今や、利用者・患者などそれぞれの個性を尊重しなければならないということが、福祉でも医療でも強調されている。

1.個人因子②

- ▶ 我々のサービスは画一的なものであってはならない、一人ひとりのニーズの個別性にたった、個性を尊重したものでなければいけない、と言われている。その個性を把握する上で非常に大事なのがこの「個人因子」であると思われる。

「個人因子」は生活機能の3つのレベルに様々な影響を与えるし、生活機能からも影響を受ける。特に生活歴、価値観、ライフスタイルは、「どのような生活・人生（活動・参加）を築いていくか」という目標の選択・決定に大きく影響する。

自分らしさの発揮

利用者は微笑んでおられますか？

- ▶ 自分が、
- ▶ 何時も、
- ▶ 誰とでも、
- ▶ 何処でも、
- ▶ 他人の前
で、

- ▶ その人が、
- ▶ 気に入らない人の前でも、
- ▶ 高齢者の前でも、
- ▶ 障がい者の前でも、
- ▶ どんな時でも、

人は誰ひとりとして
一人では生きていきません

▶「人」という文字自体から
支え、支えられて人となし
ています。

みんなの ひろば



インクルージョン
(inclusion)



共生の里生活支援センター

「みんなが皆の存在」認め合うサンクチャーリー(圏域)を共生の里では「みんなのひろば」と呼んでいます。

聖徳太子のスタンス

自分は聖人では無いし、
ついで、相手を愚人だと思いがちであれども、
相手は愚人でもない。
私は聖人でもなく
只の凡人にすぎない。

永原マツヨ先生のスタンス



創設者 初代学長
永原マツヨ

永原学園の教育理念を象徴する「あすなろう」あすなる(翌檜)とは、「明日はひのき(檜)になろう」の意常に前向きに、ひたむきに向上する、努力精励の精神が創立者の理念として貫かれています。

* 精励(せいれい)とは、つとめはげむ事。仕事に精を出す事。

認知症ケアの考え方と技術 第2版 **寄贈**

六角僚子 医学書院 ISBN978-4-260-02194-4 2400円+税

▶ バリテーション (認知症の人との超コミュニケーション法)

ナオミ・フェイル 筒井書房 ISBN4-88720-339-x 2500円+税

ユマニチュード入門 **寄贈**

本田美和子、イブ・ジネスト、ロゼット・マルスコッティ
医学書院 ISBN978-4-260-02028-2 2000円+税

共生の里生活支援センター株式会社

佐賀県小城市三日月町道辺838-1



ホームページ検索：共生の里 小城

ウェブ 画像 動画 辞書 知恵袋 地図 リアルタイム 一覧▼

共生の里 小城

×

検索

キーワード入力補助 ON-OFF

お問い合わせ

090-3986-3980

代表 福地 正敏